

## 用語解説

---

### あ

---

#### IT技術

情報通信技術。コンピューターと新しい通信技術を活用し、生活の利便性を向上させることをさす。

#### 移動円滑化

各種交通機関や道路など施設の整備を進め、高齢者や身体障害者を含めあらゆる人々が、移動の際の負担を軽減することにより、今まで以上に安全で円滑・快適に移動することができるようにすること。

#### インターロッキングブロック

レンガ状で周囲に凹凸があり、側面の凹凸が噛み合った状態で敷き詰められる舗装材。透水性に優れデザイン性も高いことから、歩道の舗装材として多く用いられてきた。

#### 雨水枡

雨水排水用の下水道へ集水するための道路側溝に設ける枡のこと。フィルター兼ふたとしての格子鉄板の隙間に、車椅子の車輪がはまり込むことが問題となっている。

#### オフィスアルカディア

地方拠点法にもとづき首都圏など大都市に過度に集積している事務所、研究所などの産業業務施設を地方に分散し、地方都市発展のためのオフィス団地を整備し、国際的なビジネス拠点の形成を目指す計画。道内では千歳市が事業採択され整備が進められている。

---

### か

---

#### 交通結節点

異なる交通手段を相互に連絡する乗り継ぎ・乗り換えの施設（駅やバスターミナルなど）のこと。改善事業は駐車場や駐輪場、歩道、通路、バス停など駅利用の改善を進める。

#### 交通弱者

高齢者や障害者など円滑な移動に身体的ハンディキャップを持つ人や、学童などを含め自己の自由となる交通手段（自家用車など）を持たない人々のこと。移動手段としては公共交通が主体となるため、その改善が求められている。

#### 心のバリアフリー

障害や年齢、性別などに関係なく、社会をつくるパートナーとしてお互いを尊重しあい接する心を持つこと。それぞれの人にとってどんなことが障害となるのかをよく理解し、ちょっとした手助けが普通にできることが「心のバリアフリー」である。

#### コミュニティバス

バス交通の便が悪い交通空白地帯や中心市街地と主要公共施設を結ぶ、地域の需要に即

した巡回バスのこと。大型路線バスでは走れない狭い道路を運行ルートとすることが多く、小型低床バスが使用されることが多い。

#### コミュニティ道路

歩行者が、安全、かつ快適に通行できるよう、歩道を広げたり、植栽や街路灯、ベンチなどを設けた道路。

#### コンコース

駅の改札口とホームの間を結ぶ、通路及び待合的な滞留空間のこと。

## さ

#### シェルター

語意は避難所、他であるが、ここではバス停などに設置する屋根つきの構造物のこと。通路や溜まり場の雨よけに用いられる。

#### 視覚障害者誘導用ブロック

視覚障害者を誘導・案内するため、路面に周囲と異なった物で敷設された福祉機器のことで、進むべき方向を教える「誘導ブロック」と、曲がり角や横断歩道の手前など注意が必要な所に敷設される「警告ブロック」の二種類がある。線で表示する「誘導ブロック」は施設同士を結ぶ道路や通路に、点で表示する「警告ブロック」は通行動線の結節点や状況変化地点、施設の出入口などに敷設される。色や材質は敷設面によって異なるが、汚れにくく丈夫で、敷設する路面とのコントラストが明確に判別できるものを用いている。

#### 植樹柵

街路樹や花を植えるためのブロックなどによる仕切り。柵の表土を保護するための格子鉄板の隙間に車椅子の車輪がはまり込むことが問題となっている。

## た

#### 段差の解消

高齢者や車椅子のスムーズな移動確保とつまずきによる転倒防止のため、歩道と車道、歩道と施設などとの段差をなくすこと。スロープを設置したり、高低差そのものをなくす方策がある。

#### 端末施設

人が移動する際の最初又は最後の利用交通施設のこと。例えば駅からバスに乗って自宅へ帰る場合、(最終)端末施設はバスをさす。

#### 低床バス

バスのバリアフリー対応の一つで、バスの床面を下げ車内の段差をなくすことで、高齢者や子供の乗り降りがしやすくなる。スロープをつけることで車椅子も乗り降りしやすくなり、今後は交通バリアフリー法の施行に基づき、順次の導入が進められる。

## 電線類の地中化

安全で快適な歩行空間の確保と都市景観の向上などを目指して、電信柱などを撤去し、電線類を歩道の地化に埋設する整備事業のこと。歩行者交通の多い通りなどが対象となる。

## は

### パトライト

回転式の表示灯。赤色、黄色などがあり、ブザーやサイレンと組み合わせることで、聴覚・視覚障害の人への注意を促しやすくなる。

### バリアフリー

バリアとは通行や出入りをはばむ柵とか防壁障害物のことをいう。一般的には老人や障害者の歩行、施設などの出入りを妨げる障害がなく、動きやすい環境をいうが、社会基盤や施設の障壁、制度上の障壁、そして心の障壁を取り除くことをさす場合もある。

### 福祉タクシー

買い物や通院など、車椅子や寝台に横になったまま利用できるよう配慮されたタクシーのことで、介護サービスの一環となる利用も可能となる。

### 福祉のまちづくり

障害者、高齢者、妊産婦などで行動上の制限を受ける人々が自由に行動し、様々な分野における社会参加の機会を等しく有することができるよう、公共的な施設や交通機関を円滑に利用できるまちづくりを進めていくこと。

### フラワーロード

道路の沿道に花壇などを設け花を植えることで、地域住民などによる環境美化と地域のイメージアップを目指す活動をさす。

## や

### ユニバーサルデザイン

あらゆる年齢、背格好、能力の人が利用可能なように、都市空間や生活環境をデザインする考え方・その試みをさす。バリアフリーはもともとあったバリア（障壁）を取り除くこと。それに対しユニバーサルデザインは、最初からバリアが取り除かれている（特別な対策をしない）状態を作ること、をさす。

## ら

### ラッチ

駅改札口の囲いのこと。これを境に駅の構内における改札口の内側をラッチ内、外側をラッチ外という。